



嶺南一帯で交流人口の拡大、 エネルギーを核とした産業の創出

1月28日に敦賀商工会議所役員・議員をはじめ、約100名が出席し、新春議員懇談会を開催しました。有馬会頭より「地方の都市では経済の改善は体感されず、とくに原子力発電の長期停止が続くこの敦賀では、底知らずの悪化傾向を十分認識して、商工会議所としては、今年はとくに従来にも増して、現場主義による会員企業の経営基盤の強化を最優先課題として取り組んでいく。」

年間を通じての、きめ細かく濃密な経営改善の指導、手厚い金融支援策などを県や市と連携、共動しながら進めていく。

また、中・長期的な視点から陸上および海上の両面における交通の要所であるという優位性を活かすとともに、舞鶴若狭自動車道や北陸新幹線など、地域を取り巻く高速交通体系が整備される環境や、地域が有する原子力エネルギーに係る多くの先端的技術力を活かしながら、また嶺南が一体となつて、交流人口の拡大、エネルギーを核とした産業の創出および定着あるいは、敦賀港のさらなる充実、整備などの施策推進に取り組み、元気で活力あふれる地域づくりを目指していく。」と新年の挨拶をいたしました。

その後、西川知事、河瀬市長より祝辞をいただき、来賓・役員・議員らが親交を深めました。